

## 「愛知製鋼グループ 2024-26年度 中期経営計画」を策定

愛知製鋼株式会社（代表取締役社長:後藤尚英）は、「愛知製鋼グループ 2024-26年度 中期経営計画」を策定しました。

2030年ビジョン実現を目指す本中計では、社会課題解決の重要性の高まりや常に変化する環境を先読みしつつ、お客さまのお役に立ち、必要とされる会社を目指し、社会的価値の創造と持続的成長へ繋げる3年間としていきます。

### 【概要】

#### 1. 会社方針

愛知製鋼が社会から必要とされる「良き企業」であり、「成長する企業」であることを改めてお約束し、社会的価値の創造と成長戦略を確かなものにし、持続的な社会に貢献する

#### （1）稼ぐ力を強化し、成長戦略を確かなものにする

##### ①スピード感ある価値創造

・お客様の困り事解決に向け、素材メーカーの知見、技術を活かし営業、開発一体で部材、部品ニーズへ貢献

##### ②鋼、鍛のポテンシャルを最大限発揮

・鋼:創業から培った鋼づくりを極めC Nへ貢献、パートナー協業による成長市場のモビリティ社会実現に貢献

・鍛:業界再編を見据え新たな工法開発でのサプライチェーン維持、鍛鋼一貫で電動化進展へ貢献

##### ③新事業の成長促進

・電子部品:一貫生産の強みを活かし電動化進展へ確実な供給対応と品質保証度を高め競争力に貢献

・GMPS :実証から「構内物流」での社会実装により、少子高齢化、物流の運転手不足問題解決へ貢献

・磁石 :調達リスク高まる重希土類不使用のマグファイン®の技術力を高め、安定供給に貢献

##### ④素材を通じた社会への貢献

・ステンレス:生産能力増強とエンジニアリング機能拡大・技術力強化で、インフラ老朽化対策へ貢献

・鉄供給材:カンキツグリーンング病の症状軽減を通し世界の農業問題解決に貢献

#### （2）社会的価値の創造を推進

##### ①サステナビリティ課題への対応

・当社のアイデンティティである資源循環型のモノづくりを強化し、会社の力・基盤強化につなげ持続的社會へ貢献

##### ②厳しく温かく人が育つ風土の醸成

・社会課題を素早く認識し、正しく問題解決できる人材育成でサステナブル社会に貢献

##### ③将来の持続的成長に向けた財務戦略

・長期目線に立った成長戦略を軸に、「成長投資」と「株主還元」にキャッシュを積極配分し、PBR改善を目指す

#### 2. 経営目標

地球環境・社会への貢献を進めつつ、お客さまのお役に立ち続けることを通じて、2030年ビジョンを見据えた、連結営業利益150億円を目指します。

[詳細資料:「愛知製鋼グループ 2024-26年度 中期経営計画」](#)